

## 第2回 平岸なんでも talks 実施！

2026. 6. 29

### ～「好き」を学びに変える3日間～

生徒たちが主体的に放課後にプレゼンテーションを行う「平岸なんでも talks」の第2回が、6月16日・17日・18日の3日間連続で実施されました。

今回のテーマは「受験でつかえる整数論を教えます！」。講師を務めたのは3年生の小原くんです。数学が大好きな小原くんが、「自分の好きな数学をみんなに伝えたい」という思いから企画し、3日間にわたる講義を行いました。

講義内容は、

1日目:互除法と最大公約数・最小公倍数

2日目:互除法と一次不定方程式

3日目:合同式を味わう

と、受験にもつながる整数分野をテーマに、基礎から発展まで深く学ぶ内容でした。

各回2時間に及ぶ本格的な講義でしたが、参加した生徒たちは最後まで集中して取り組み、「とてもわかりやすかった」「整数がもっと面白く感じた」「受験勉強にも役立ちそう」といった感想が聞かれました。

講義終了後も、生徒たちは自主的に演習問題に取り組み、小原くん質問する姿が見られるなど、学びへの意欲があふれる時間となりました。

2年目を迎えた「平岸なんでも talks」。今年度は募集を始める前から「やってみたい」と自ら申し込む生徒が増えており、生徒たちの主体性が次の主体性を生み出す“連鎖”が確かに広がっています。

これからも平岸高校では、生徒一人ひとりの「やってみたい」を応援し、新たな学びの場をつくっていきます。



## 平岸なんでも talks に再登場！

### ～広がる「未来をつなぐ一冊プロジェクト」～

6月10日に行われた第1回「平岸なんでも talks」に登場し、モザンビークの子どもたちにノート1000冊を届ける活動を発表した3年生の中村さん・保川さん・平川さんが、6月22日・23日の放課後に再び「平岸なんでも talks」に登場しました。

今回は、自分たちが進めている「未来をつなぐ一冊プロジェクト」のこれまでの活動や、モザンビークの子どもたちの暮らし、現地の教育環境について紹介し、支援の必要性を参加した生徒たちに呼びかけました。

3人の思いのこもった発表を聞いた生徒たちの中には、「自分も何か力になりたい」と共感する人が増え、プロジェクトのメンバーは当初の3人から現在19人にまで広がりました。

小さな一歩から始まった活動が、多くの仲間を巻き込みながら大きな輪へと成長しています。

今後は、さらにポスターや看板を制作し、朝の登校時間や学校祭で募金活動を行う予定です。

平岸高校から世界へ——生徒たちの主体的な挑戦は、これからも広がり続けます。

